（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらいスイッチ神埼			
○保護者評価実施期間	令和7年12月11日		～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年　1月　30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイサービス事業所として十分な広さの環境を備えておりその中でもいくつかの居室に分かられており、活動内容に合わせた環境の提供が可能、運動を行ない場所や静かに座って過ごせる場所と食育室などの環境が提供できる。	児童をグループ毎に分けて活動を実施する等が出来る。男女や年齢に分けて療育活動が行なえる	事業所の施設だけでなく公園や公共施設の体育館なども多く利用していく。
2	各事業所スタッフには色々な資格を持った専門職（PT・OT・介護福祉士・社会福祉士・看護師等）が配置されているので、色々な視点で支援の検討が行う事ができたり対応する事ができる。	専門的な支援や家族支援；子育て支援などに対応する取り組みが出来る。	同じグループ内で他の事業所の療育を経験したりスタッフの交流・交換体験など実施してい区など工夫していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所に通われている児童の保護者間の交流が行なわれていない。	同じ悩みや課題を抱えている保護者同士で合っても色々な情報の共有する機会や交流が行なえていない。	現状では保護者からの要望もなく保護者間で同じ悩みなど抱えている者同士の交流が持てても良いが通所事業所である為、時間内は療育中心で難しい事もあり特別に日時の設定なども検討する必要があると考えられる。
2	地域の方々と利用児童の交流の機会が持てていない	事業所のどのような児童が通っているのか、地域の皆様に情報が提供できていない	児童や家族の個人情報への配慮も関係するので、その事を検討して保護者の了解を得たりしながら必要であれば交流の機会を検討する。
3	保護者・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加出来る研修の機会や情報提供等が行えていない。	普段の送迎時など相談を受けた時にはアドバイスなど送れることもあるが、家族が抱えている悩みなど大きな問題などには対応できる能力や知識が不足していると感じる。専門的な経験がある人材など増やす必要がある。また、事業所が相談できる関係機関を持つことも必要と感じる。い。	ペアレントトレーニングについては、専門機関などの研修参加や勉強会などを行いながら、スタッフ全体の技術・知識の向上が必要である。人員に余裕を持たせて研修機会を十分に作っていく必要がある。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	みらいスイッチ神埼

公表日 令和8年3月6日

利用児童数 26　　回収数 13

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10		1	2		人員の配置を検討し必要な時間や場所に適切な見守りを実施していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1		2		様々な特性を持たれているお子様がいるので、見守りを強化していきます。児童間のトラブルについては双方の意見を聞
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12		1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	9			4		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1				なるべく楽しく過ごせるように活動内容を検討しています。その中でも様々な特性や行動のある児童にも運動などを通し
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	1	5		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	3	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2				送迎時などに保護者の方とお話しさせて頂き利用時の様子や家庭での課題についてお話しさせていただいています。ご家
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	5	2			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	5	1	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1			

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			3		送迎の際やHUGアプリの方で、その日に行った活動の目的や児童の様子等を今後も継続して報告していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1				個人情報の管理について、より一層気を付けて対処していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	10	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11		1	1		児童間のトラブルについて、その日のうちに児童同士とスタッフで解決出来た事でも起こった事実として報告させていた
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12			1		児童が安心して来所する事が出来る放課後デイサービス事業所、保護者様が安心して子供達を預ける事が出来る放課後デ
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	2				子供達が楽しく通える放課後デイサービス事業所として、支援活動を提供しています。好きな場所で好きな事を行なう事
	29	事業所の支援に満足していますか。	12		1			安心して頂けられる放課後デイサービス事業所として、これまでの出来事の反省、振り返りを行ない今後の事業所運営

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	みらいスイッチ神埼

公表日　令和８年　3月　6日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	比較的にいくつかの居室を備えており十分と感じられる。数人ずつ別の居室で支援を行なったり工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	2	4	他の事業所からの応援態勢を整えている。	スタッフの欠勤などのより不足していると感じられる場面があり応援が出来ない日もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	運動療育や静に過ごせる環境、食育を行なう部屋など区別して活動実施を行っている。	ほぼバリアフリーを整えているが一部段差がある。現状の利用児童では問題ないが、一部の障害児童に対応できない環境でもある。必
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3	居室などの環境の掃除は日々行っている	感染の流行期時期に手洗い場が不足しているように感じられる
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	申し出があれば居室の使用を許可する対応を行なっている。	個別に居室は無い。空いている部屋を使用する等の対応を子なっているが、クールダウンしたり体調不良の場合の部屋を用意する
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	会議、ミーティングで話し合いを行なっている。内容によって上部へ報告している。	全スタッフが参加できない事もあり周知する機会を増やす事が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	保護者向けアンケートを取っている	事業所評価を受けて意見を本に改善をしていくべき所を検討する事が必要。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	定例会議とミーティングの実施を行なっている	参加できなかったスタッフには資料の確認など実施していくようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	保護者からの意見等を元に業務の工夫や対応を日々心掛けて業務の改善に努めている。	外部機関による評価は行えていない、必要に応じて検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	全職員対象に毎月色々な研修会を実施している事と外部の研修会にも参加を出来る体制がある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	放課後デイサービスガイドラインに基づき基本的な療育方針があり、事業所でも支援方法を整えており、個別支援計画を行なってい	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	アセスメント・モニタリングを繰り返しながら適切な支援について意見を交わしながら計画作成を行なえている。	計画の確認を行なう。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	スタッフ間ミーティングや会議等を実施し関わるスタッフの意見を聞きながら児童の課題について計画に反映する事が出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0	計画書を個人ごとにファイリングしていつでも確認出来るようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	標準化したアセスメントを取り記録している。	標準化したアセスメントシートの利用が出来ていないスタッフもいるので周知する。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	最低、半年ごとに見直しを行ないモニタリングなどを経て変更された支援計画書の作成が出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	定期的に会議などで話し合いが出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	定期的に会議などで話し合いが出来ており、新たな活動プログラムの導入を図っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	児童の特性や課題を把握し個別の対応や集団活動を取り入れて支援を行っている。 専門的支援を含む	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日の朝・夕ミーテイングで確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日、当日の振り返りや反省がミーテイングで実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	HUG記録を残し保護者・家族へ報告を行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	最低、半年に1回モニタリング実施し支援内容の反省、新たな課題などの抽出を行なっている。	モニタリング会議に参加できない事もあるので、意見をまとめて伝える等を工夫する。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1		４つの基本行動を把握できていないので認知していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	本人の意見を取り入れながら工夫し対応している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発管とスタッフが参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	体制は出来ている	体制は出来ているが、実際に連携する事は殆どないので、連携を増やしていく事が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校からの情報提供もあり把握できている。 送迎時に話を行なう事ができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	必要な情報をアセスメントとして確認したり相互理解に努めている。	一部情報不足な事もあるので、再確認など行なうようにしていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	情報共有体制ができている	情報共有体制はあるが、まだ、卒業する児童が出ていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	4	いつでも連携できる準備は行なえている。	児童発達支援センターとの連携は確認できていないので必要であれば行なうようにする。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	他の事業所との共同活動が実施できている。	地域の方との交流など取り入れた活動を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	自立支援協議会への参加が出来ていない（放課後デイサービスに関する活動グループが無いとの事。	必要があれば参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時などとHUG連絡等で行なっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		家族参加の研修会などを提供できるように準備を検討する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や面談の際に行なっている。質問があれば随時対応に努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	担当者会議等の場を準備していたり、相談を埋める等の対応を行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	個別支援計画と活動などを含めて支援状況の説明を行なっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	相談を受けた場合には適切にアドバイスなど行なえている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	5	保護者参加型の活動を実施して保護者間の交流する場を設けている。	父母の会などの組織が出来ていない、時に保護者が集える場を提供するようにしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	苦情を受け付ける体制があり、対応している。	細やかな支援と小さな苦情に対応するようにスタッフ間で上表の共有に努める
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎月、保護者・家族にお便りを提出いている。また、インスタグラムやHUG連絡など実施している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	研修会や日々の業務の中でも取り扱いについて周知している。二重チェックなど実施している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	合理的配慮に努めている。電話、HUG,対面など対応体制を準備している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		これまで地域の住民を招きいれた活動の実施など行なえていない、必要であれば計画していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	事業所内に各マニュアルがあり、想定した訓練を実施している。	マニュアルはあるが、保護者等への周知できていない部分を周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	災害発生時の対応の訓練、計画を実施している。	訓練に参加できていない児童もいるので複数回の訓練を行えるようにしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	2	アセスメントを取り把握している。	個人ファイルを確認するよう周知する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	アセスメントの中でアレルギーの確認を行ない周知している。	アレルギーについて把握している。医師の指示を受けるような問題は起きていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全対策に注意しながら必要な訓練と支援を実施ている。	まだまだ不十分な事もあるので、随時対策を取り入れていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2	安全対策に注意しながら必要な訓練と支援を実施し家族への説明を行なっている。	まだまだ不十分な事もあるので、随時対策を取り入れていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	随時ヒヤリハット発生時の情報共有を行ない対策の検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的な研修会と事業所内でのスーパーバイズを行なえている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	マニュアルを整えており準備している。 実際，拘束する場面はなし。	